

港区の世論 Vol. 23 (第 30 回港区民世論調査報告書概要版)

MINATO OPINION

ミ ナ ト

オ ピ ニ オ ン

【調査の概要】

■ 調査設計等

【調査対象】 港区在住の満 20 歳以上の男女個人（外国人を含む）

【標本数】 2,000 標本

【抽出方法】 住民基本台帳からの層化無作為抽出

【調査方法】 郵送配布・郵送又は電子申請による回収

【調査期間】 平成 27 年 11 月 16 日（月）～11 月 27 日（金）

【有効回収数】 952 標本

【有効回収率】 47.6%

■ 調査項目

- | | |
|-----------|---------------|
| (1) 定住意向 | (5) みなとタバコルール |
| (2) 区政全般 | (6) 災害対策 |
| (3) 区基本計画 | (7) 生活安全 |
| (4) 国際化推進 | (8) 選挙への関心 |

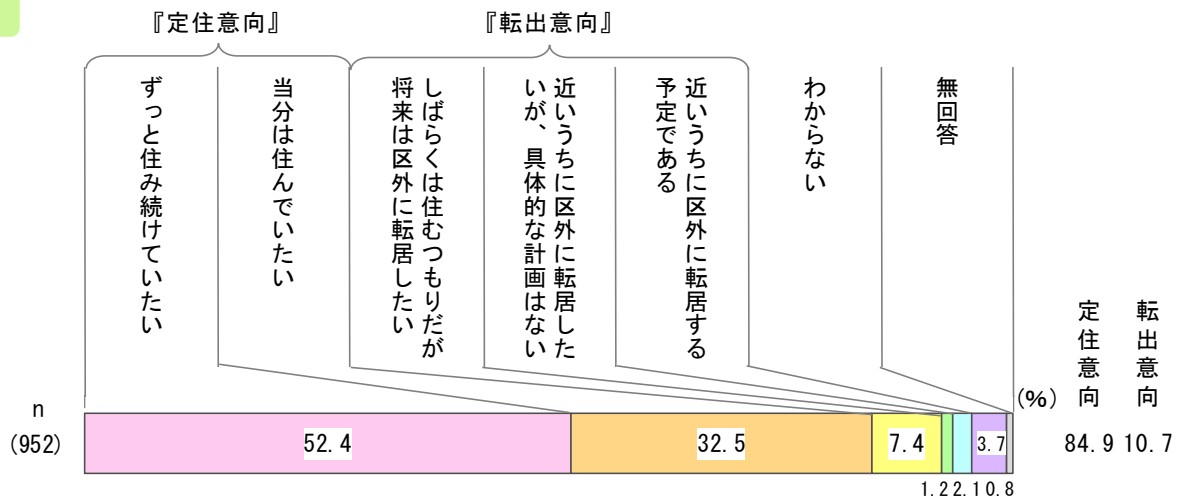
※ 本文中の「百分率」は小数第 2 位を四捨五入しているため、または複数回答のため、数値が 100 にならない場合があります。

港 区

1 定住意向

これからも港区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」（52.4%）が5割を超えて最も多く、これに「当分は住んでいたい」（32.5%）を合わせた『定住意向』（84.9%）は8割半ばとなっています。一方、「しばらくは住むつもりだが将来は区外に転居したい」（7.4%）と「近いうちに区外に転居したいが、具体的な計画はない」（1.2%）と「近いうちに区外に転居する予定である」（2.1%）を合わせた『転出意向』（10.7%）は約1割となっています。（図1）

図1

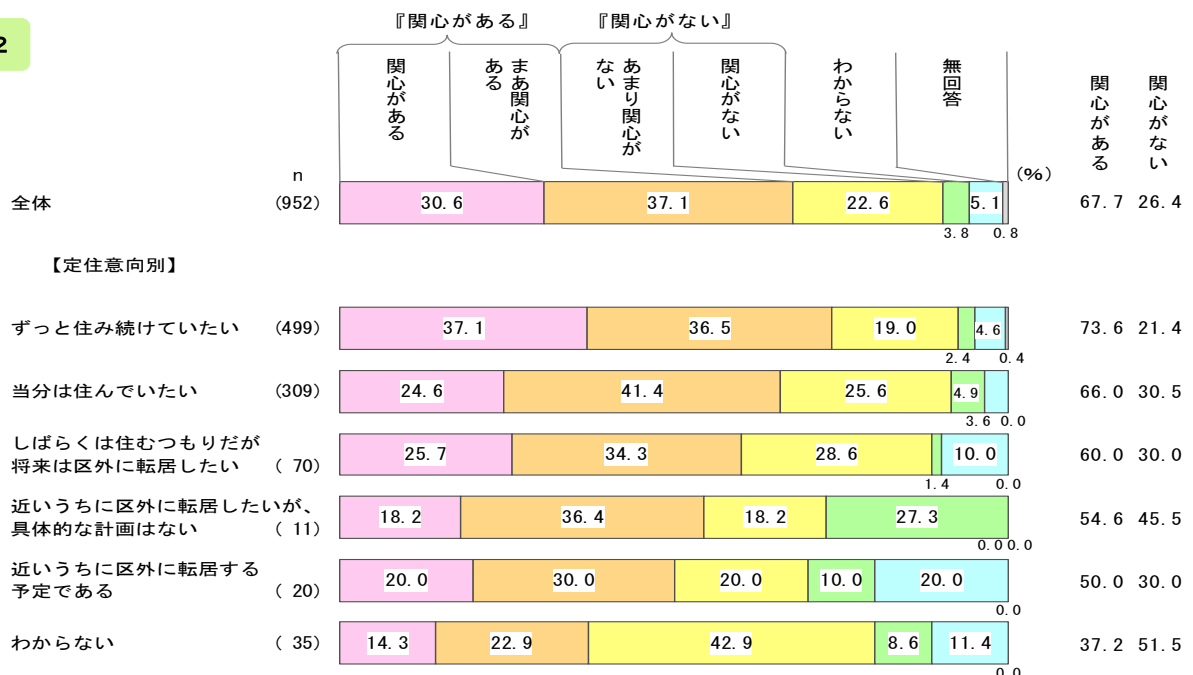


2 区政全般

港区政に関心があるか聞いたところ、「まあ関心がある」（37.1%）が4割近くで最も多く、これに「関心がある」（30.6%）を合わせた『関心がある』（67.7%）は7割近くとなっています。一方、「あまり関心がない」（22.6%）と「関心がない」（3.8%）を合わせた『関心がない』（26.4%）は2割半ばとなっています。

定住意向別でみると、『関心がある』はおおむね定住意向が強くなるほど割合が多く、「ずっと住み続けたい」（73.6%）と思っている人では7割を超えています。（図2）

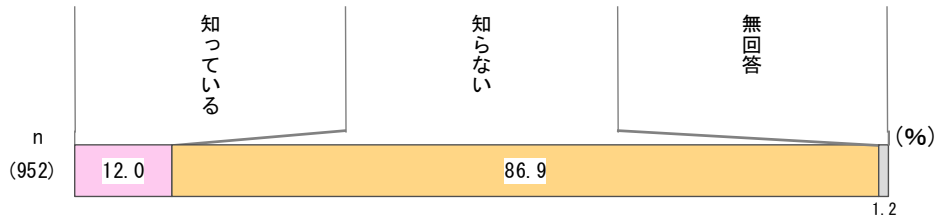
図2



3 区基本計画

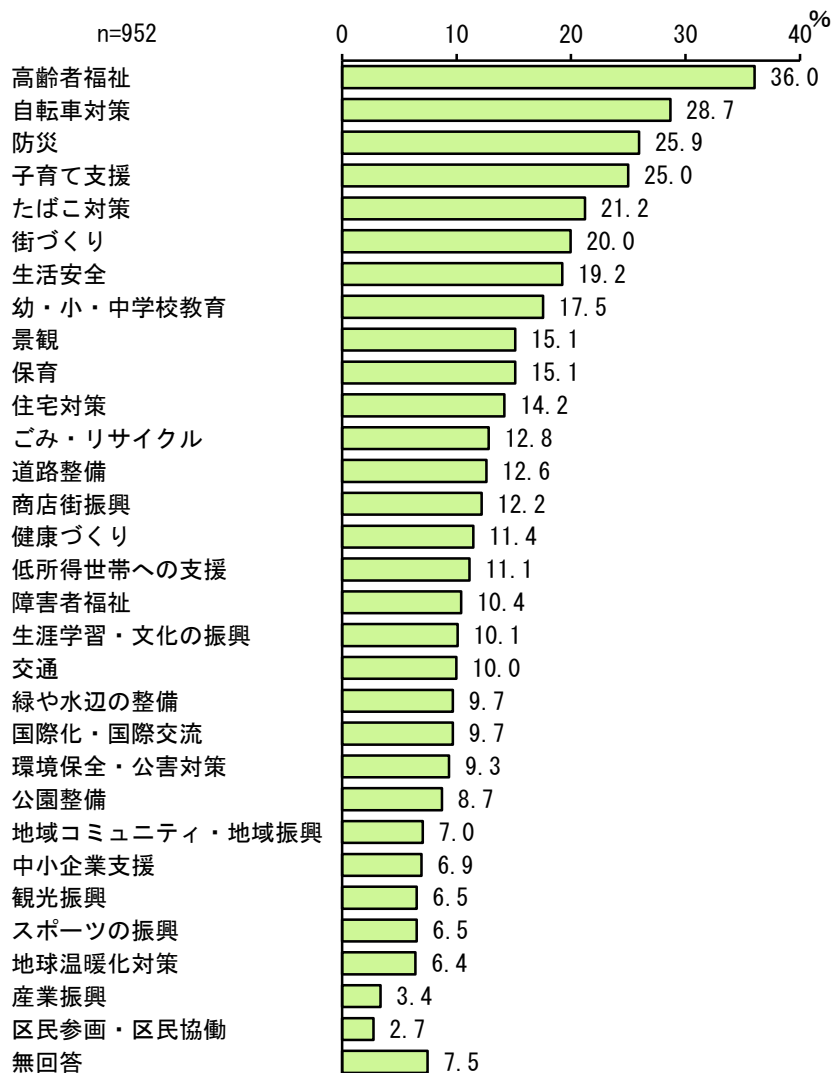
平成 26 年度に新たな「港区基本計画（平成 27 年度～平成 32 年度）」を策定したことを知っているか聞いたところ、「知っている」（12.0%）は 1 割を超え、「知らない」（86.9%）は 9 割近くとなっています。（図 3）

図 3



区が特に重点的に取り組むべき政策として、第 1 位にあげられた政策は「高齢者福祉」（36.0%）が 3 割半ばで最も多く、次いで「自転車対策」（28.7%）、「防災」（25.9%）、「子育て支援」（25.0%）、たばこ対策（21.2%）と続いています。（図 4）

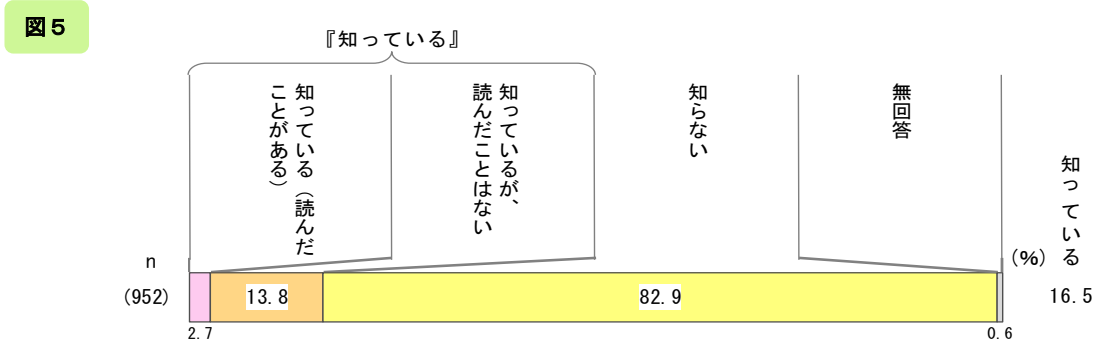
図 4



4 国際化推進

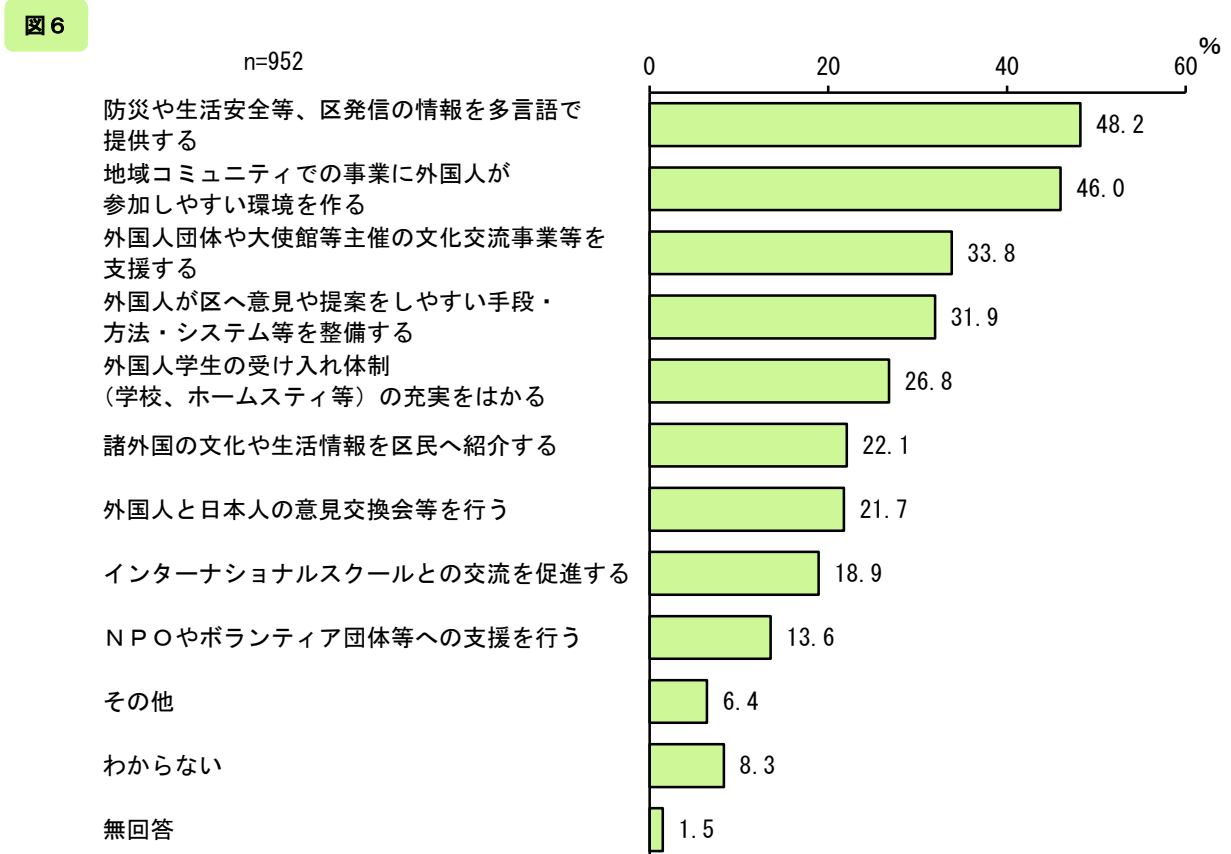
平成 27 年 3 月に、国際化をさらに進め、外国人への行政サービスを一層充実していくための取り組みを体系的に示している、「港区国際化推進プラン」を策定したことを知っているか聞いたところ、「知っている（読んだことがある）」(2.7%)と「知っているが、読んだことはない」(13.8%)を合わせた『知っている』(16.5%)は2割近くとなっています。一方、「知らない」(82.9%)は8割を超えています。

(図 5)



国際化を進めるためにどのような取り組みが必要か聞いたところ、「防災や生活安全等、区発信の情報を多言語で提供する」(48.2%)が5割近くで最も多く、次いで「地域コミュニティでの事業に外国人が参加しやすい環境を作る」(46.0%)、「外国人団体や大使館等主催の文化交流事業等を支援する」(33.8%)、「外国人が区へ意見や提案をしやすい手段・方法・システム等を整備する」(31.9%)と続いています。

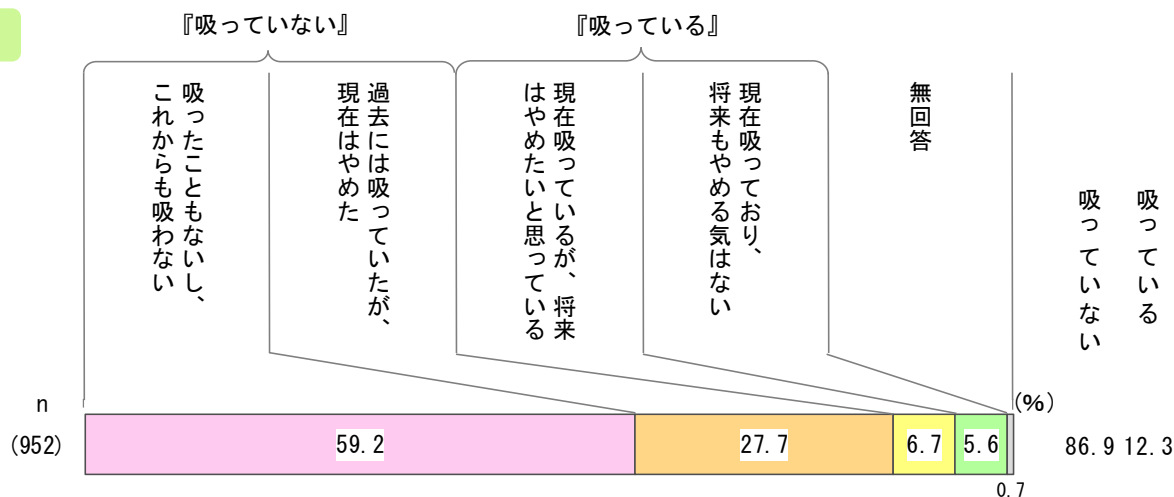
(図 6)



5 みなとタバコルール

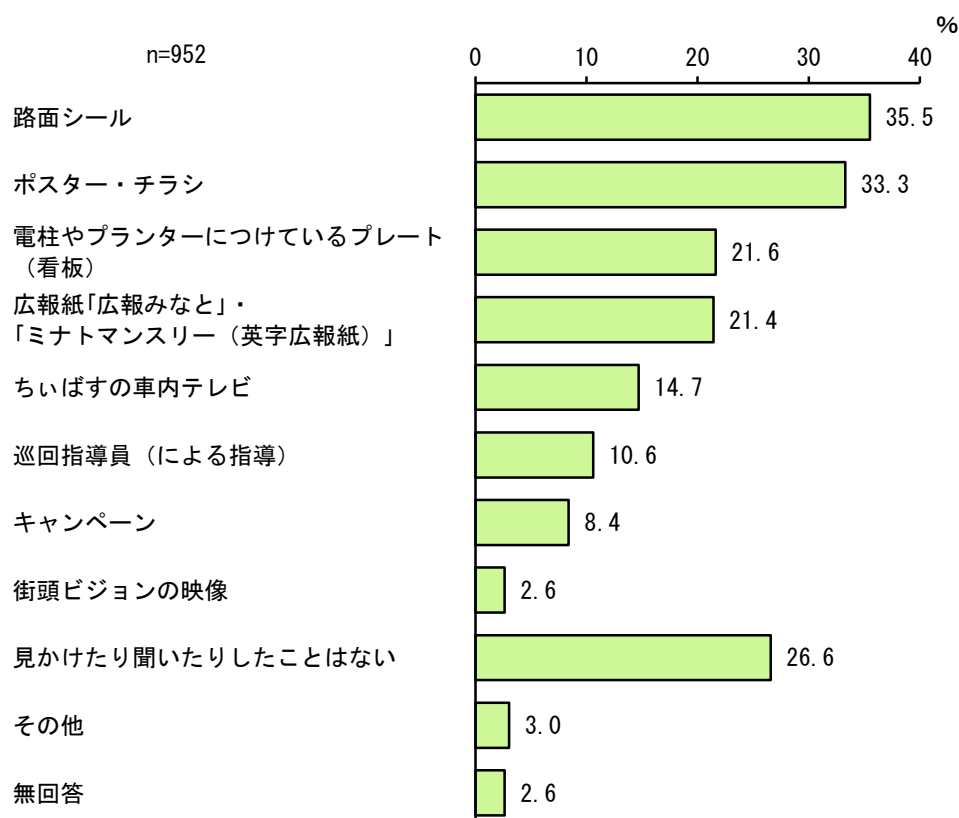
たばこを吸っているか聞いたところ、「吸ったこともないし、これからも吸わない」(59.2%)が約6割で最も多く、これに「過去には吸っていたが、現在はやめた」(27.7%)を合わせた『吸っていない』(86.9%)が9割近くとなっています。一方、「現在吸っているが、将来はやめたいと思っている」(6.7%)と「現在吸っており、将来もやめる気はない」(5.6%)を合わせた『吸っている』(12.3%)は1割を超えています。(図7)

図7

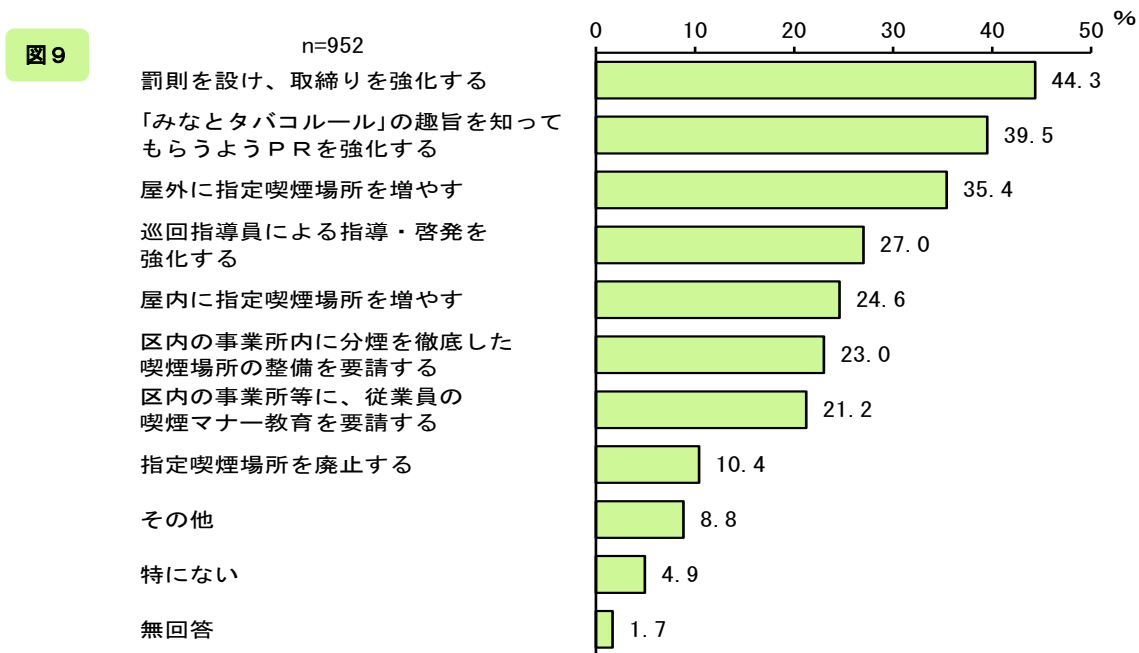


屋外の公共の場所での喫煙やポイ捨てを禁止する「みなとタバコルール」についてどこかで見かけたり聞いたりしたことがあるか聞いたところ、「路面シール」(35.5%)が3割半ばで最も多く、次いで「ポスター・チラシ」(33.3%)、「電柱やプランターにつけているプレート(看板)」(21.6%)と続いています。一方、「見かけたり聞いたりしたことはない」(26.6%)は3割近くとなっています。(図8)

図8

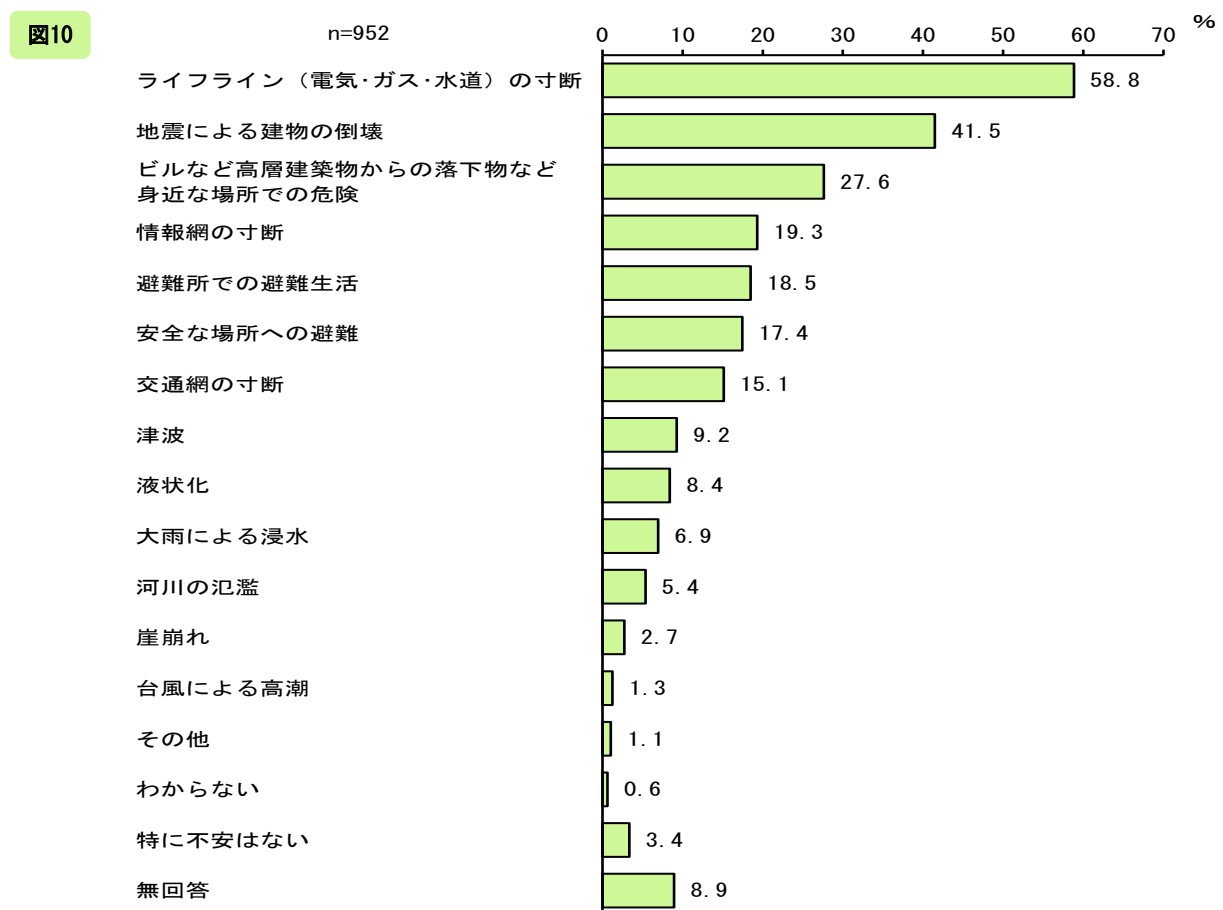


今後のたばこ対策としてどのような取り組みが必要か聞いたところ、「罰則を設け、取締りを強化する」(44.3%)が4割半ばで最も多く、次いで「みなとタバコルールの趣旨を知ってもらうようPRを強化する」(39.5%)、「屋外に指定喫煙場所を増やす」(35.4%)と続いています。(図9)



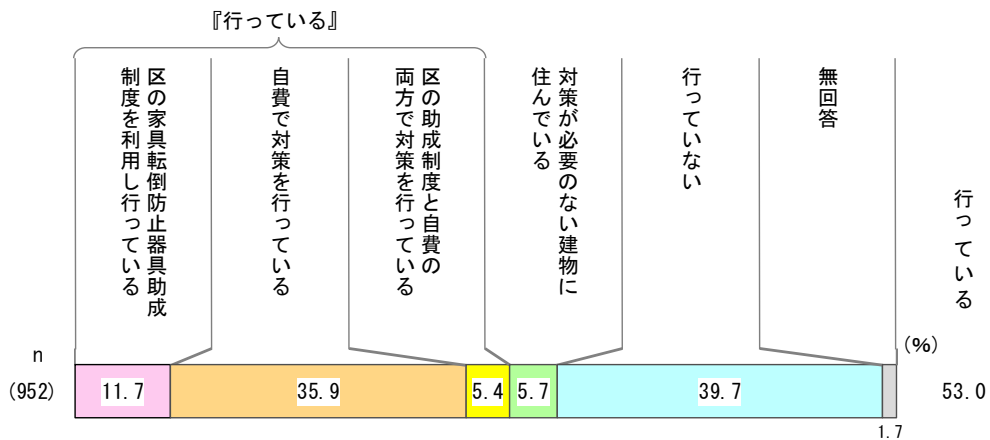
6 災害対策

住まいの地域で、自然災害についてどのような不安を感じるか聞いたところ、「ライフライン（電気・ガス・水道）の寸断」(58.8%)が6割近くで最も多く、次いで「地震による建物の倒壊」(41.5%)、「ビルなど高層建築物からの落下物など身近な場所での危険」(27.6%)、「情報網の寸断」(19.3%)と続いています。(図10)



大震災に備えて、自宅で家具転倒・落下防止対策を行っているか聞いたところ、「自費で対策を行っている」(35.9%)が3割半ばで最も多く、これに「区の家具転倒防止器具助成制度を利用し行っている」(11.7%)と「区の助成制度と自費の両方で対策を行っている」(5.4%)を合わせた『行っている』(53.0%)は5割を超えています。一方、「行っていない」(39.7%)は4割となっています。(図11)

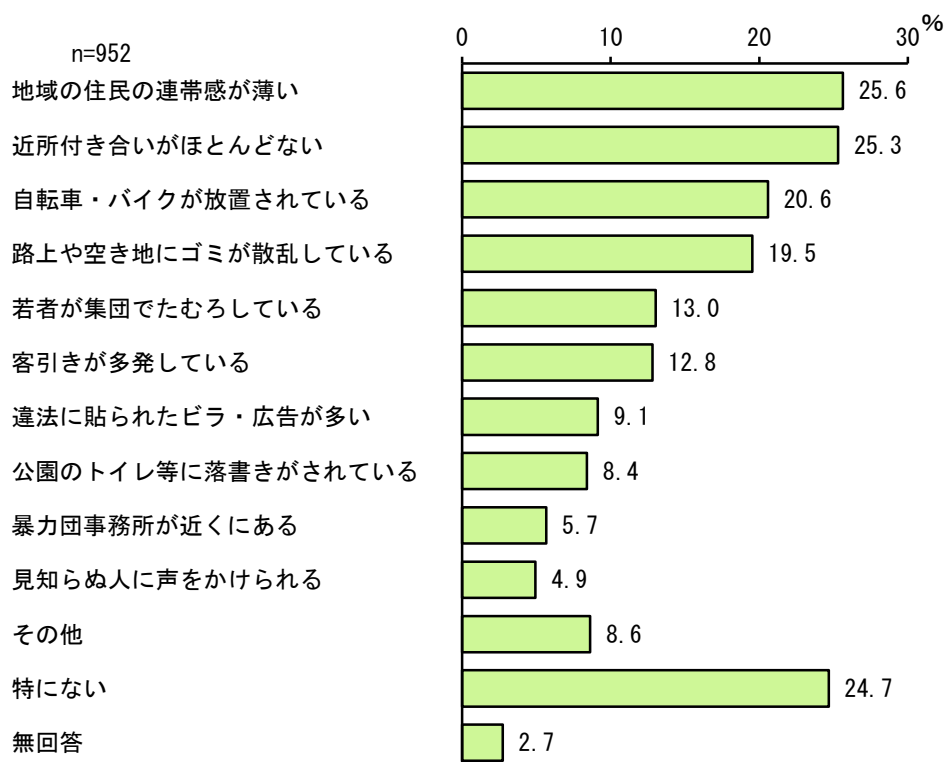
図11



7 生活安全

普段、自分自身を脅かすのではないかと不安を感じることはあるか聞いたところ、「地域の住民の連帯感が薄い」(25.6%)、「近所付き合いがほとんどない」(25.3%)がともに2割半ばで多く、次いで「自転車・バイクが放置されている」(20.6%)、「路上や空き地にゴミが散乱している」(19.5%)と続いています。一方、「特にない」(24.7%)は2割半ばとなっています。(図12)

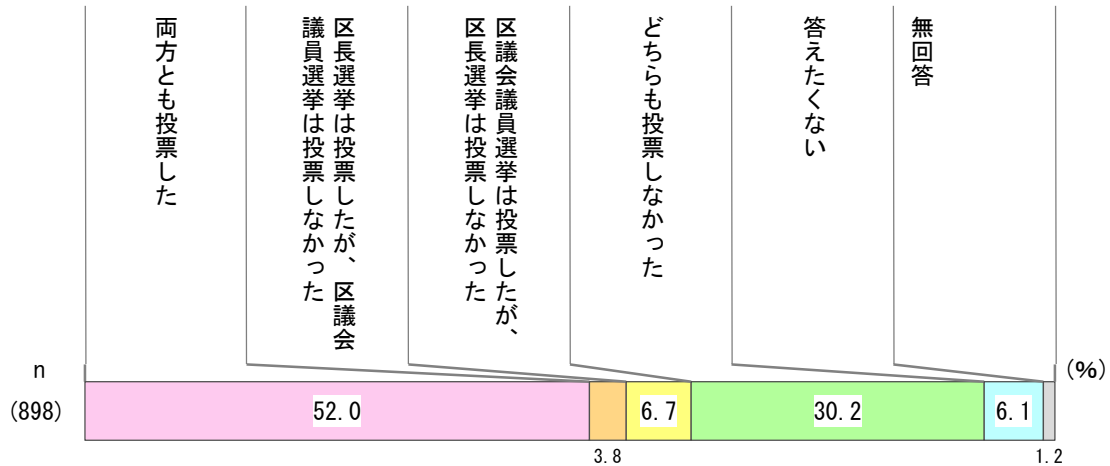
図12



8 選挙への関心

「区長選挙」（平成 24 年 6 月 10 日執行）及び「区議会議員選挙」（平成 27 年 4 月 26 日執行）の投票について聞いたところ、「両方とも投票した」（52.0%）が5割を超えて最も多く、「どちらも投票しなかった」（30.2%）は3割、「区長選挙は投票したが、区議会議員選挙は投票しなかった」（3.8%）と「区議会議員選挙は投票したが、区長選挙は投票しなかった」（6.7%）を合わせた『どちらか一方のみ投票した』（10.5%）は約1割となっています。（図13）

図13



港区の世論 Vol.23（第30回港区民世論調査報告書概要版）
平成28年（2016年）3月発行

【編集・発行】 港区企画経営部区長室
港区芝公園1丁目5番25号
電話 03（3578）2111（代表）
刊行物発行番号 27199-5861



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この印刷物は、古紙を活用した再生紙を使用しています。